

# メイトルのつばやき No.7



## 《 プーリムカーニバル 》

春です！家族や友達と一緒に活動的な時間を楽しむことができる季節になりました。長かった寒い冬の季節は終わりました。冬の季節は外出が億劫だったことでしょう。でも春は外で楽しむことができます。そして気分もすっきりするのではないのでしょうか。春は皆さんにとって暖かくなった気候と植物の開花を楽しむ季節です。そして、日本の春を代表する桜の花が咲き始めます。

3月12日の土曜日に八百津の「第8回プーリムカーニバル」が開催されました。プーリムはユダヤ人のお祭りです。このお祭りが何を意味しているのかわっていますか？ハマンという悪い大臣がペルシャのユダヤ人を絶滅する計画を立てました。しかし、ペルシャのユダヤ人は王妃エステル（エスター）によって救われたのです。それを記念するお祭りです。

ユダヤ人が救われたことを祝うこのプーリムの日、ユダヤ人はユダヤ教会シナゴークで「メギラ」という特別な本を読み、その後、大人も子どもも仮装をして楽しめます。プーリムの物語は、ユダヤ人の運命が悩みから喜びに変わった日なのです。今日では人々は毎年、一日だけ変身するのです。そして、私たちもかわります。運命が変わることは喜びであり、とても大切なことだと考えているからです。仮装は人々を喜ばせます。このためプーリムの日にはいろいろなパーティーや仮装パレードを行なわれます。そして大人はその日お酒を飲みます。これは大人にとって大事なことなのです。多くのお酒を飲み、大変楽しく過ごします。このようにプーリムはイスラエルの一番楽しいお祭りです。もう一つの面白い習慣は「ミシュラハト・マノット」というものです。「ミシュラ



ハト・マノット」とは贈り物（食べ物）という意味です。プーリムの日は少なくとも二人のあなたにお菓子を渡さなければなりません。また、

プーリムには「オゼン・ハマン」と呼ばれる特別なクッキーを食べる習慣があります。ヘブライ語で耳のことをオゼンと言います。「オゼン・ハマン」とは

「ハマンの耳」という意味です。クッキーの形は、少し耳に似ています。王妃エステル（エスター）によってユダヤ民族は救われたので「オゼン・ハマン（悪い大臣）」を食べることになりました。

イスラエルで毎年プーリムをお祝いしますが、日本でのプーリムカーニバルは私にとって始めてでした。大変面白かったです。参加者が仮装したことにとても感動しました。八百津のカーニバルで紙芝居を通じてプーリムの伝統的な話をしました。その後、イスラエルの伝統的なおもちゃラリーションをガラガラと鳴らしながら、ファミリーセンターから出発して



街を練り歩きました。パレードが終わってからファミリーセンターに帰ってきて素敵なバルーンショーを見ているいろいろなゲームをしました。プーリムの特別なクッキーも食べました。八百津のプーリムカーニバルは本当に楽しい雰囲気でした。

私は子供の頃からこれまでプーリムというお祭りがいちばん楽しいお祭りだと思っています。仮装をすることで一日だけ好きなキャラクターになることができるのです。八百津の町民の皆さんと自分の国の祭りを一緒に楽しめるのは本当に素晴らしい経験でした。明るく楽しく積極的に参加して頂き、皆さん本当にありがとうございました！来年も多くの方に参加して頂きたいと思っています。お待ちしております。宜しく願いいたします。

メイトルさんへの質問は  
[meital@town.yaotsu.lg.jp](mailto:meital@town.yaotsu.lg.jp)  
 までどうぞ！